

## 教科に関する調査の設問別の分析結果

## 問題

平成21年度基礎・基本調査 [11]-2

次の1・2の英文は、中学生のケン(Ken)とニック(Nick)先生の会話です。\_\_\_\_\_に適切な語を入れて、会話文を完成させなさい。

Ken: I play baseball and soccer.  
How about you?

Nick: I play baseball, but I \_\_\_\_\_ soccer.

Ken: Oh, I see. Let's enjoy baseball.

## 【出題の趣旨】

場面に応じて、否定文を用いて、簡単な文を書くことができる。

接続詞( but )についての知識も必要である。

## 【学習指導要領の内容・領域】

「書くこと」(イ)

語と語のつながりなどに注意して正しく書くこと。

	正答率
広島県	52.8
町全体	52.5

解答類型	1	2	3	4	5	6	7	8	左記以外	無回答
町全体の割合 (%)	48.8	1.3	2.5	1.3	23.8	2.5	1.3	3.8	3.8	11.3

## この問題を解くために必要な力

- ・ 接続詞のはたらきを理解して適切に活用する力
- ・ 問題の趣旨をとらえ、話をしているA.Bの2人の話のつながりをとらえる力(場面認識力)
- ・ 一般動詞を含む英文を正しく書く力
- ・ butの前文が肯定文であるならば、butの後は否定文になるという文構造の知識

## 誤答分析

解答類型2...大文字・小文字の誤りが1ヶ所ある。

解答類型3...綴りの誤りが1ヶ所ある。

解答類型4...don't で終わっている。誤答例 I play baseball, but I don't soccer.

解答類型5...butの後に否定文で書けていない。会話文の前後を読み取って、自然な流れになる文を書くことができていない。

学習頻度として「肯定文-but-否定文」といったパターンの文や接続詞を含む表現を、授業の活動の中であまり使った経験がないことが考えられる。

また、指導者側も、このような接続詞を含む文を話す練習はさせていたが、「書いて表現する」活動をあまり設定していなかった。

無回答...単語を確実に習得していないため、文の意味がわからず書くことができない。

## 調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

【単元名】Unit 5 A Park or a Parking Area? (第2学年)

### 調査結果からみる課題

#### 【課題となる力】(生徒の課題)

- ・ 接続詞の意味や使い方を理解し、英文の内容を読み取る力。
- ・ 接続詞を含む文の流れを意識して、(既習事項を用いて)正しく英文を書く力。

#### 【指導上の課題】(教師の課題)

- ・ 接続詞が用いられる場面を正しく理解させる指導が不十分であった。
- ・ 英文の内容を接続詞によって識別し、それに応じた英文を作る活動の場面設定が不十分であった。

### 指導改善のポイント

コミュニケーション活動を通して、接続詞を含む文を正しく用いて表現する力を育成する。

#### 【指導の工夫】

場面に応じた正しい接続詞の使い方を定着させるために、視覚的教材を用いたり、ゲーム活動を行ったりする場面を設定する。

接続詞を用いて2つの英文を結びつけることに慣れさせるために、コミュニケーション活動の中で接続詞を用いて書く場面を設定して定着を図る。

## 調査結果の分析をふまえ、各校で行う共通実践

本単元を中心学習内容である接続詞 (if, that, when, because) の用法を理解させるために、ゲーム活動を行ったり、視覚的教材を用いた教材を導入時に使う。

「マッチングゲーム」

A 群

- ・ Go to the pool
- ・ I can't go out
- ・ Go to bed soon

B 群

- ・ if you are tired.
- ・ when you want to swim.
- ・ because I'm busy.

【進め方】生徒に一枚ずつカードを渡す。内容の通じる文章になるように、適切な英文カードを持っている一人の生徒をインタビューしながら見つける。...A群のカード「Go to bed soon」を持つ生徒は、B群のカード「if you are tired.」を持つ生徒を、お互いの英文を読み合わせながら見付ける。

接続詞を用いて2つの英文を結びつけることに慣れさせるために、コミュニケーション活動の中で接続詞を用いて書く場面を設定して定着を図る。

インタビュー用のワークシート

Hello, Nice to meet you. My name is .....  
What's your name?  
Where do you live?  
What's your hobby?  
If I'm free, I will.....  
If you are free, what will you do?

発表用のワークシート

Hello, Nice to meet you. My name is .....  
This is Mr. (Ms.).....  
He (She) lives in ....  
His(Her) hobby is....  
If he(he)is free, he(he) will ....

【進め方】インタビュー用のワークシートの英文を読む練習を行った後、相手にインタビューを行う。メモをとった後、右の表内のパターンで人を紹介する英文を作り、仲間の前で発表する。

## 中学校第2学年 英語科学習指導案

### 単元名：Unit 5 A Park or a Parking Area

#### 単元について

本単元では、新学習指導要領（外国語科）の「エ 書くこと」の指導事項（イ）「語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。」また、「イ 話すこと」の指導事項（イ）「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」をねらいにして指導を行う。

本単元では様々な接続詞を扱っており、複文で表された内容や考え方を正しくとらえることを学習することができる。

英文の内容は「公園を維持するか、駐輪場にするか」という議論が中心である。

身近な地域の問題を扱いながら、自分の考えや気持ちを相手に正しく伝えたい時によく用いられる if 節, that 節（目的）, when 節, because 節が導入される。

これらの表現法を学習することで「事実を伝える」「意見・考えを述べる」という言語活動が可能になり、生徒のコミュニケーションの幅をさらに広げることにつながると考える。

あるテーマに対して考えを整理して提言する（伝える）という過程は、今後、社会を生き抜くために必要な力となりえる。

また、教科書本文や学習した表現を参考にしながら簡潔な英語を使って自分の意見・事実を述べるといった、表現力を養うのに効果的な単元と考える。

#### 調査結果からみる課題

##### 誤答分析から

平成21年度基礎・基本定着状況調査 [11]-2

23.8%の生徒が、but の後を否定文で書けていない。

- ・ 学習頻度として肯定文 but 否定文という表現を授業の活動の中であまり使った経験がない。
- ・ 会話文の前後を読み取って、自然な流れになる文を書くことができていない。
- ・ 否定文の作り方がわかっていないため、正確に書けていない。
- ・ 接続詞 but の単語の意味とはたらきが定着していないため、対話の流れを理解していない。などの分析ができる。

##### 指導上の課題

接続詞を用いられる場面を正しく理解させる指導が不十分であった。

英文の内容を接続詞によって識別し、それに応じた英文をつくる指導と活動する場面を十分行っていないかった。

#### 指導改善のポイント

##### 指導内容・指導方法について

課題となっている力を育てるために、「ある条件に沿った文を書く・話す」ことを指導改善のポイントとして次の2点の活動を行う。

今回の中心学習内容である接続詞の用法を理解させるために、視覚的教材を用いる場面や、ゲーム活動をする場面を設定する。

接続詞を用いて2つの英文を結びつけることに慣れさせるために、コミュニケーション活動の中で接続詞を用いる場面（『書く活動』『話す活動』『聞く活動』）を設定する。

既習事項と接続詞を用いたインタビュー用のワークシートを用意して、相手にインタビューをさせる。その後、そのワークシートを基にして、相手を紹介する英文を作成し(書く活動)、全体の場で発表させていく(話す活動・聞く活動)。

## 「ことばの教育」との関連

「言語技術」を活用した指導を通して、生徒に付けたい力は次の通りである。

- 「5 聴いた内容を、相手を紹介する文に書き換えて発表する」場面
  - ・・・ 情報を正しく伝える力。
  - ・・・ 情報を整理してわかりやすく伝える力。

## 単元の目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しく学んだ表現を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・ 相手に伝わりやすいスピーチになるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が話したい内容について、適切な語句や文を用いて表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続詞が用いられた英文の内容を正しく理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続詞を使った表現の仕方について理解することができる。</li> </ul>

## 指導と評価の計画

(全9時間)

次	学習内容(時数)	評 価				評価規準	評価方法
		関	表	理	言		
1	Unit5-1(1) ・ 教科書の内容や接続詞ifの導入・理解					・ 接続詞の用法や意味を理解できる。	生徒観察 ノート
	Unit5-1(1) ・ 接続詞ifを含む文を使ったインタビュー活動  【本時 1/1】					・ 接続詞ifを含む文を用いてインタビューを行い、相手を紹介する文に書き直して、発表することができる。	生徒観察 ワークシート
2	Unit5-2(1) ・ 教科書の内容や接続詞(that節)の導入・理解					・ 対話文を読み、内容を理解することができる。	生徒観察 ノート

	Unit5-2(1) ・ that節を用いた表現活動				・ that節を用いた文の用法や意味を理解することができる。	生徒観察
3	Unit5-3(1) ・ 接続詞(when節)の導入,教科書の内容理解				・ 新聞記事(教科書本文)を読み,内容を理解することができる。	生徒観察 ワークシート
	Unit5-3(1) ・ when節を用いた表現活動				・ when節を用いて,自分のことを表す文を積極的に書いている。	生徒観察 ノート
4	Unit5-4(1) ・ 接続詞(because節)の導入,教科書の内容理解				・ 接続詞が用いられた英文の内容を理解できる。	生徒観察 ノート
	Unit5-4(1) ・ because節や他の接続詞を用いた表現活動(スピーチ文の作成)				・ 接続詞を用いて,語と語のつながりに注意して自分の意見や考えを書くことができる	ワークシート(スピーチ内容)
5	Unit5のまとめ(1) ・ スピーチの練習 ・ 表現活動(スピーチの発表) ・ 単元の検証問題実施				・ 相手に伝わりやすいスピーチになるよう工夫している。 ・ 新しく学んだ表現を用いて,積極的にコミュニケーションを図っている。	生徒観察 発表

## 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ インタビュー活動に積極的に取り組むことができる。
- ・ 接続詞 if や既習事項を用いて、人を紹介する文を書く。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準(評価方法)
挨拶をする		
1 ウォームアップを行う。		
<p>Q &amp; A</p> <p>前時までに学習した教科書の内容の音読練習をする。</p> <p>暗記テストをする。</p>	<p>JTE,ALT) 平易な内容の疑問文を生徒に訊ねていく。</p> <p>JTE) 生徒の反応等を観察し、必要に応じてヒントを出す。</p>	
2 基本文を導入し、本時の目標を確認する。		
<p>接続詞 if の確認</p> <p>If you can go, please call me.</p>		
<p>JTE) if を含む文を使ってインタビューして、聴いた内容をまとめて発表しよう。</p>		
3 if 節を使った表現の練習を行う。		
<p>「もしひまなら、何をしますか」のモデル対話を聞く。</p> <p>口頭練習を行う。</p> <p>(例) If I am free, I will go to Fukuyama.</p> <p>自分のことを表現する英文を書く。</p> <p>(例) If I am free, I will....</p> <p>ペアでインタビューしあう。</p> <p>If you are free, what will you do?</p>	<p>JTE,ALT) 小道具も用いて、生徒に活動への興味を持たせる。</p> <p>ALT) モデルとして音読する。</p> <p>JTE) 生徒の反応・声量等から必要に応じて生徒と一緒に音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正しく話せない生徒には、その生徒の実態に合わせ、対話ができるよう支援する。</li> </ul>	

4 ワークシートを基に、ゲストにインタビューする。		
<p>インタビューのモデル対話を見る。</p> <p>インタビュー前の個人練習を行う。</p> <p>ゲストにインタビューを行う。</p>	<p>JTE,ALT) モデル対話を見せて、活動のイメージを明確にもたせていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前練習をする時間を確保するため、ワークシートを用いる。</li> </ul>	
5 聴いた内容を、相手を紹介する文に書き換えて発表する。		
<p>インタビューした内容を英文に表す。</p> <p>ゲストを紹介する文を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手を紹介する英文(He/ She....で表す英文)を書けるようにするため、ワークシートを利用する。</li> <li>紹介する英文が書けない生徒には、接続詞を正しく使った紹介文が書けるように支援する。</li> <li>活動の様子からおおむね満足できる生徒には、発展課題をさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>接続詞を用いてゲストから聞いた内容を整理して発表する。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>情報を整理してわかりやすく伝える力。 情報を正しく伝える技術</p> </div>	<p>既習事項や接続詞 if を用いて、人を紹介する文を書くことができる。 (生徒観察 ワークシート)</p>
6 今日の学習を振り返る		
<p>学習を通して分かったことや気づいたことをまとめる。</p> <p>JTE,ALT からの評価を聞く。</p> <p>次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価表を用いて、学習の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>自己評価表</p>

# 検 証

## 検証の方法

接続詞を扱った次の問題を実施することにより、付けたい力の向上が見られるかどうかを検証する。

### 1 【語句の確認】日本語を英語にしてください

もし...ならば            ~と思う・考える            ~ (する)時            なぜなら

### 2 【基本文の確認】

次の日本語に合うように、(     )内から適語を選んで、英文を完成してください。

なお、文の出だしの語は最初の文字を大文字にすること。

もしあなたが行けるなら、私に電話してください。

(            ) you can go, please call me.

(私は) 私たちには公園が必要であると思います。

I think (     ) we need a parking area.

人々は自転車小さな男の子の上に倒れた時、苦情を言いました。

People complained (            ) a bike fell on a little boy.

私たちは公園が必要なので、私はその計画に反対です。

I am against the plan (            ) we need our parks.

私はサッカーをしますが、テニスはしません。

I play soccer, (            ) I don't play tennis.

when      that      because      but      if

### 3 【基本文・語順の確認】次の日本語に合うように、(     )内の語を並び替えて英文を完成してください。

もし晴れば、私たちは買い物に行くつもりです。

( if shopping it go is I'll sunny ).

私は忙しいので、外出することができない。

( busy go out I'm can't I because ).

私はひまな時、音楽を聴きます。

( I'm when to listen I free music ).

私はエミが犬が好きなのを知っている。

( think I dogs Emi likes that ).

## 検証結果

	正答率
大問1 (4問)	94.4%
大問2 (5問)	86.6%
大問3 (4問)	72.2%

## 分析・考察

- 大問1「語句」については90%以上の正答率であった。大問2「基本文(空所補充問題)」については80%以上の正答率であった。生徒達は概ね単語の意味や基本文を理解していると考えられる。
- 大問3「語順(英作文)」の正答率は72.2%の正答率であった。接続詞を用いて副詞節を作らず、主節に接続詞を使う誤答が多かった。また、教科書の本文や授業時に説明した英文に類似した問題の正解率は高いが、類似していない英文を作る問題は正答率が低い。単語の意味は概ね理解していると考えられる。改めて接続詞を用いた英作文の組み立て方の指導と日頃の授業で既習事項をいろいろなパターンで繰り返し学習する活動を仕組んでいく必要がある。